

ナンバリング	A②07	科目名	フィールドワーク（生活と社会） 「カンボジアの子どもたちの暮らし」	担当教員	伊藤 恵里子	
ディプロマポリシーとの関連性	①・②・③・④		担当形態	単独		
テキスト	資料を適宜配布する。			単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期 集中
講義概要 ■到達目標 <ul style="list-style-type: none"> カンボジアの子どもたちの暮らしを実際に子どもと触れ合うことで体感し、感じたこと・考えたことをレポートに書き表すことができる。 カンボジアの歴史を理解し、説明することができる。 ■授業の概要 <p>カンボジアの首都プノンペンをフィールドとして体験研修を行う。</p> <p>カンボジアは、世界の最貧国の一つである。多くの人が一日本（約200円）以下での生活という絶対的貧困状況の中で暮らしている。そうした状況にあるプノンペンの児童養護施設や障害者自立生活センター、貧困地域の幼稚園・小学校を訪問し、子どもたちと遊び、触れ合う中で、子どもたちがどのような暮らしをしているかを感じてほしい。</p> <p>また、カンボジアは40年ほど前に、同じ国民同士が戦争を行い、国民の約5分の1が政府によって虐殺された国でもある。そうした歴史をふりかえる中で、「平和とは?」「人間とは?」ということに参加者皆で考えたい。</p> ■授業計画 <p><事前学習></p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジアの歴史について調べ、レポートにまとめる。 海外での体験研修を安全に楽しむための確認を行う。 <p><体験研修></p> <ul style="list-style-type: none"> 児童養護施設、障害者自立生活センター、幼稚園、小学校などを訪問し、子どもたちと遊び、触れ合う。 カンボジア内戦の傷跡を刻んでいるフィールドを訪問する。 <p><事後学習></p> <ul style="list-style-type: none"> 体験研修のふりかえり。 体験研修で学んだことをレポートにまとめる。 「体験研修報告会」にてレポート内容を報告する。 ■準備学習 <ul style="list-style-type: none"> カンボジアの歴史や現状について調べる。 ■評価方法 <ul style="list-style-type: none"> 事前学習のレポート — 20% 体験研修への積極的な参加姿勢 — 60% 体験レポート — 20% 						
参考文献	適宜紹介する。		特記事項	【定員と費用】 定員は10名以下。費用は10万円程度を予想しているがレートにより高くなる場合有。 【課題等へのフィードバック方法】 事前学習のレポートと体験レポートは、教員も含め学生同士で読み合わせを行い学びの共有をはかる。また、その場で教員の感想を述べる。		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格選択		幼保	教養科目		
実務経験のある教員等による授業内容						